

カメラ用ブラケット
(AT-22仕様)

施工 説明書



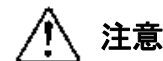
■正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。

■万一、注意事項に従わず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

安全上のご注意

- ご使用前にこの『安全上のご注意』をお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

注意 人が損害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定される内容



注意



禁止

- ハウジングに衝撃を与えない。
ケース、カバーの破損の原因となります。
- ハウジング本体を熱のこもる場所に設置しない。
熱がこもり、火災やケース、ハウジングの変形の原因となります。
- 熱器具の近くに設置しない。
発火、ケース、カバーの変形の原因となります。
- ハウジング本体を布などで覆わない。
熱がこもり、火災やケース、カバーの変形の原因となります。
- 幼児の手の届かない場所に設置する。
けがの原因となることがあります。
お子様が触らないようご注意ください。
- カバーの取付作業は高所作業車などの足場の安定した場所で行うこと。
不安定な足場での作業は、バランスを崩したり手が滑ったりして落下する原因となります。
ハウジング内へのカメラの組込みは地上で行ってください。



必ず守る

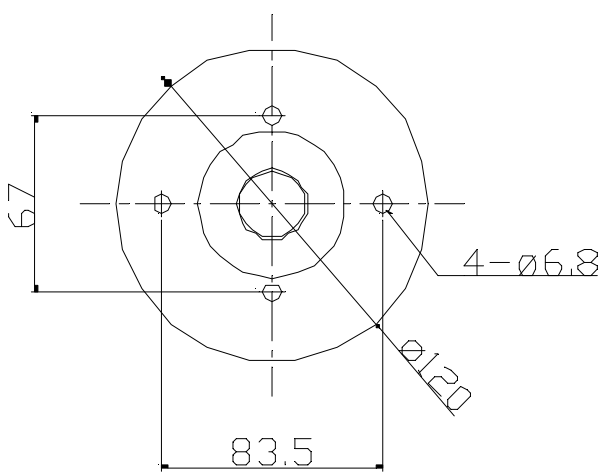
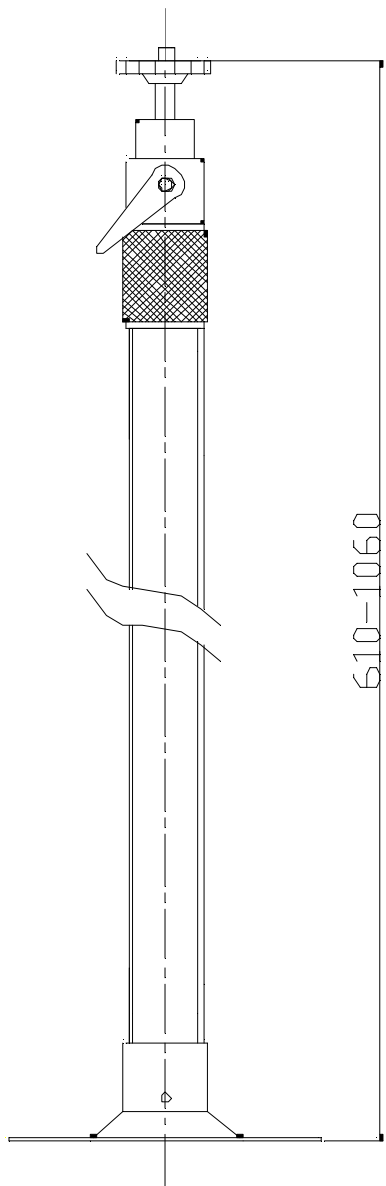
- 安定した場所に設置する。
凹凸のある壁面等に取付けると、製品が安定せず落ちてけがの原因となることがあります。
- ケーブル類は配管内に収納するなどの方法で配線する。
露出部分が多いとケーブルに物を引っ掛け、製品の落下及びケガの原因となります。

設置方法

1. 取り付けるカメラ本体またはマウントアダプタにカメラ固定ネジをねじ込み、カメラを固定してください。
なお、この際に本体と台座部などのネジ締結部が緩んでいないか確認し、必要に応じて確実に締め付けてください。
2. 壁、天井にあけた通線孔から出ているケーブルをブラケットのパイプの中を通して、ブラケット本体のケーブル引き出し孔から出してください。
3. 壁、天井の通線孔とブラケットのパイプの芯を合わせ、ブラケット本体をネジで固定します。
4. カメラとケーブルを接続します。
5. レバーを緩めてカメラの撮影角度を調整し、角度が決まったらレバーを確実に締め付けてください。
締め付けが不十分ですと、レバーが緩んで撮影角度が変わる原因となることがあります。

【注意】

- ・取付は、十分な強度のある場所に取り付けてください。落下、破損、けがの原因となります。
- ・本製品は室内で使用するカメラ設置用ブラケットです。
カメラ以外のものへの取り付け、屋外でのご使用は避けてください。
- ・レバー締め付け部の内部金具の磨耗・変形を生じる恐れがあるため、レバーの締め付け／解除は頻繁に行わないようにしてください。
- ・カメラ取付け後、レバーを固定したままカメラを無理に回さないようにしてください。



ワイヤー等による落下防止策

- ・万一機器に損傷を生じた場合のカメラ等の落下事故を防止するため、ブラケット本体とカメラを設けの際は、それぞれにオプション設定などの落下防止安全ワイヤーを併設するなど万一の場合の安全確保をお願いします。
- ・安全ワイヤーは十分な強度のある場所に取り付けたアンカーボルト等に取り付けてください。